



Institute for  
Multidisciplinary  
Sciences

Yokohama National University

## 総合学術高等研究院



FACULTY  
PROFILE

**YNU** 横浜国立大学



## ABOUT IMS

SCIENCE and  
VISION

Institute for  
Multidisciplinary Sciences  
Yokohama National University

### 総合学術高等研究院の位置付け

先鋭的な技術研究領域において世界水準の卓越的研究を推進する先端科学高等研究院に対し、総合学術高等研究院は、未来のありたい社会像（ビジョン）実現に向けて多様な研究分野が学際的に連携し、理想の社会構築を目指すビジョンドリブン型の高等研究院です。主任研究者（PI）には今後の未来社会を担う新鋭の若手研究者を多く擁し、多様性の強化と学際領域横断の加速を目指しています。未来像からバックキャスティングされた今日の研究課題に果敢に取り組み、新たな学術領域と社会的価値の創出につながる研究活動を実践します。

### 学外との連携体制

昨今の学術界では国際的高度研究人材の獲得競争がますます激しくなり、国際頭脳循環が加速しています。優れた外国人研究者の採用・獲得を重点課題とし、体制整備を推進してきた先端科学高等研究院と同様、総合学術高等研究院でも、本学ビジョン実現に向けて外国企業や海外大学など国際連携機関との国際的協働ネットワークを形成し、創造的で高水準な研究活動の中核となる「国際ネットワークハブ拠点」としての取り組みを強化しています。また、地域社会や産業界など学外組織との連携を継続的に深めるさまざまな取り組みを通じ、国際研究力向上と研究成果の社会実装推進の両立を目指しています。

# 研究組織体制

総合学術高等研究院には、リスク共生社会創造センター、台風科学技術研究センター、豊穣な社会研究センター、次世代ヘルステクノロジー研究センターの4つの実践型アカデミックセンターに加え、生物圏研究ユニット、革新と共に創のための人工知能研究ユニット、共創革新ダイナミクス研究ユニットの3つのユニットを配置しています。

グローバルな社会課題に挑戦するこれらの研究センターと研究ユニットは、それぞれが掲げる未来ビジョンの実現に向け、先端科学高等研究院が取り組む卓越した新テクノロジーとの相乗効果を基盤に、人類が直面する世界規模の課題解決や、社会との対話(Dialogue)を通じたイノベーション共創に貢献することを狙いとしています。



## 総合学術高等研究院の組織構成



## 研究支援体制

高等研究院では、多岐にわたる研究分野の国際的研究者が学内外から集結し、高水準な研究プロジェクトに取り組んでいます。最先端の研究環境整備や外部資金マネジメント、研究アウトリーチ活動(研究広報・サイエンスコミュニケーション)

のみならず、高等研究院に所属する研究者を越境的につなぐ研究者ネットワーク形成などの重点的支援を実現するため、専属の研究戦略企画マネージャーを配置しています。

**リスク共生社会創造センター**  
Center for Creation of Symbiosis Society with Risk

### VISION

リスク共生学に基づく変化に柔軟に対応できる  
“しなやか”かつ“納得感”のある  
社会の実現を目指していきます。

**ABOUT**

新しい社会課題解決法としてのリスク共生は、本学発のリスクに関する概念です。社会に潜在する多様なリスクをどう捉えるべきか研究・活動を通じて、社会としての「リスク共生のあり方」「最適な調和のある受容なあり方」を模索していき、安全安心の実現と活力のある社会の創造を目指します。

**RESEARCH CONTENTS**

リスク共生社会創造センターは、リスクコミュニケーションや学問構築を中心活動する「リスク共生学ユニット」、リスク共生の実践、学際研究推進を行う「社会リスク連携ユニット」、リスク共生の社会実装を目指すための「研究」そして、副専攻プログラムやe-learning制作を中心とした「教育」と、主に4つの活動により、リスク共生の社会実装を推進していきます。

**CENTER 1**

センター長 濵谷 忠弘  
SHIBUTANI Tadahiro

**台風科学技術研究センター**  
Typhoon Science and Technology Research Center

### VISION

日本初の台風専門研究機関として、台風災害リスクの低減による  
安全で活き活きとした持続的な社会構築への貢献、台風エネルギーの  
活用による脱炭素社会実現への貢献を目指しています。

**ABOUT**

台風科学技術研究センターは、日本全国の台風研究者と、電気化学・船舶工学・法学・経済経営学という本学の特色ある研究が研究目標を共有して協働するとともに、先端科学高等研究院のユニットや他の先進技術研究センターとも連携を図りながら、新たな台風に関する学術領域開拓と新技術の社会実装を加速する研究拠点です。

**RESEARCH CONTENTS**

台風科学技術研究センターがもたらす4つの貢献

- 1 台風災害リスクの低減による「安全・安心で活力ある活き活きとした持続可能な社会実現への貢献」
- 2 新しい再生可能エネルギーの創出による「脱炭素社会への貢献」
- 3 台風イノベーションによる「技術大国日本の復活に貢献」
- 4 産学シームレスでの研究による「世界で戦える人材育成に貢献」

**CENTER 2**

センター長 筆保 弘徳  
FUDEYASU Hironori

## Institute for Multidisciplinary Sciences INTRODUCTION OF THE CENTER

**豊穣な社会研究センター**  
Research Center for Sustainability, Resilience and Well-being

### VISION

すべての人が与えられた資質と能力を活かし、生き生きと生活し、  
将来世代のために夢と希望を抱いて耕し続ける、豊かで稔りある社会、  
「豊穣な社会」を目指して総合学術的かつ実践的な研究・教育を展開します。

**ABOUT**

豊穣な社会を構築するため、私たちは、元気なインフラに支えられる防災力・減災力の高い社会を目指して、文理融合的な研究、教育にチャレンジ、成果の社会実装に取り組みます。

**RESEARCH CONTENTS**

3つの研究所を設置

- 1 元気なインフラ研究所：社会を支えるインフラの長寿命化に貢献
- 2 もしもし×可視化研究所：デジタルツインなどを活用し、社会の防災・減災力を向上
- 3 つながり方研究所：人と人のつながりを科学し、幸せな社会の構築に貢献

**CENTER 3**

センター長 細田 晴  
HOSODA Akira

**次世代ヘルステクノロジー研究センター**  
Research Center for Next-Generation Health Technology

### VISION

統合知による研究エビデンスに基づくヘルスイノベーションエコシステムを構築し  
生活と医療・ヘルスケアを新技術開発・実践型研究で繋ぎ、移動・就労・居住を  
通して健康と幸せを実感できるイノベーションエリアを創造します。

**ABOUT**

健康・医療・福祉などヘルステクノロジー全般に関わる本学シーズを結集することで「産学公民医」を繋ぐハブ機関となり、世界を先導する学際的な研究を推進します。地域連携と産学公連携、医工連携を有機的かつ実効的に推進する役割を担う組織体を目指しています。

**RESEARCH CONTENTS**

5つのラボを設置

- 1 革新的医療デバイス創製ラボ：新たな医療技術創出を支援する医療デバイスなどの開発研究を推進
- 2 ヘルスケア MaaS ラボ：通院や救命救急時の搬送など、移動と医療とを繋ぐ高付加価値なサービス技術を開発
- 3 医療データ科学ラボ：健康・医療分野における未病や潜在的疾患の早期診断につながるビッグデータ利活用研究など
- 4 フェムテック／アシスティビテック研究ラボ：ダイバージェンス＆インクルージョン実現に向けフェムテックや障がい等の身体差を考慮した支援技術を研究
- 5 ヘルスイノベーションエコシステム共創ラボ：ヘルステクノロジーを核としたエコシステム形成に必要な社会科学と都市科学の融合研究を推進

**CENTER 4**

センター長 下野 誠通  
SHIMONO Tomoyuki

# 生物圏研究ユニット

## VISION

気候変動や生物多様性の損失といった様々な課題の解決にむけ、自然の価値を最大限に活用するための科学的エビデンスを提供し、人間を生物圏の一部とみなした新たな自然と社会の関わり方を提示する。

## RESEARCH CONTENTS

気候安定化、防災減災、パンデミック抑制、食糧や水の確保、文化の豊かさなど無数にある自然の価値を活用するために必要な科学的エビデンスを提供します。科学と社会、政策の協力体制のもと、人間を含めた生物圏の持続可能な発展の実現を可能とする研究に取り組みます。

UNIT  
1



主任研究者  
鏡味 麻衣子  
KAGAMI Maiko

# 革新と共創のための 人工知能研究ユニット

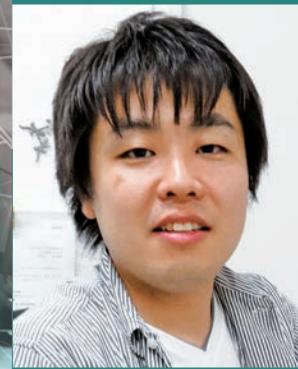
## VISION

独自の人工知能技術を追求しつつ、様々な分野での人工知能技術の利活用を推進し豊かな未来社会の実現に貢献します。

## RESEARCH CONTENTS

機械学習、深層学習、進化計算などの人工知能技術を基礎とし、自動機械学習、進化的機械学習、未知を知るAIなどに関する独自技術の発展と、バイオ、生体医工学、セキュリティ分野などへの人工知能技術の応用や産学官連携研究活動によって、革新・共創的研究に取り組みます。

UNIT  
2



主任研究者  
白川 真一  
SHIRAKAWA Shinichi

# 共創革新ダイナミクス 研究ユニット

## VISION

先端的知識や技術の社会実装による新たな社会価値を実現するために、組織内外にわたる知識や技術の移転・共有のメカニズムを明らかにするとともに共創的革新(Co-innovation)を実現する産学官連携の戦略とマネジメントそしてイノベーションのダイナミクスについて実践的研究を実施します。

## RESEARCH CONTENTS

大学等で生まれる先端的な知識や技術を社会に展開すること(いわゆる社会実装)でイノベーションを推進し、新たな社会価値を実現することが求められている。そのためには、多様なプレーヤーによる共創の方法や動学的側面についての知見が必要である。本研究ユニットではまず、組織内外にわたる知識や技術の移転・共有のメカニズムを明らかにしていく。さらに、共創的な革新(Co-innovation)を実現する産学官連携の戦略とマネジメントをはじめ、社会価値の実現に資するイノベーションのダイナミクスについて、実践的に研究をする。

UNIT  
3



主任研究者  
真鍋 誠司  
MANABE Seiji

主任研究者  
安本 雅典  
YASUMOTO Masanori

Institute for Multidisciplinary Sciences  
**INTRODUCTION OF  
THE UNIT**



# 総合学術高等研究院

Institute for Multidisciplinary Sciences

Yokohama National University



## CONTACT

横浜国立大学 高等研究院 事務局

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 高等研究院棟 (S7-4) 103 室

TEL: 045-339-4454

E-mail: sentan.kenkyu@ynu.ac.jp

Institute of Advanced Research, Yokohama National University

Main Office, #103, Building of Institute of Advanced Research (S7-4)

79-5, Tokiwadai, Hodogaya, Yokohama 240-8501, Japan

Phone: +81-45-339-4454

E-mail: sentan.kenkyu@ynu.ac.jp

このパンフレットは以下のサイトからもダウンロードできます

This brochure is also available at the following website

JAPANESE

[https://ims.ynu.ac.jp/research/pr\\_archives/](https://ims.ynu.ac.jp/research/pr_archives/)



ENGLISH

[https://ims.ynu.ac.jp/en/research/pr\\_archives/](https://ims.ynu.ac.jp/en/research/pr_archives/)

